

急性汎発性発疹性膿疱症 (AGEP)

エトドラク



70歳, 男. 近医にて腰痛症に対しエトドラク処方. 1週間後より38℃台の発熱, 両肘窩, 後頸部に小膿疱を伴う浮腫性紅斑が出現し体幹へ急速に拡大したため紹介受診. 両肘窩, 後頸部に浮腫性紅斑を

認め, 紅斑上には非毛包性の小膿疱が多発(上). 皮疹は体幹部に拡大(下). 粘膜疹はなく, 表在リンパ節も触知しなかった.

(中村有希子ほか: 皮膚病診療 35 : 849, 2013)